

平成28年度射水市環境審議会専門部会の概要

1 開催日時

平成29年3月22日（水）午前10時から午前10時45分まで

2 場 所

射水市役所306会議室

3 出席者

松原 委員（射水市地域振興会連合会副会長）

山田 委員（いみず地球温暖化防止活動推進員ネットワーク事務長）

山本 委員（射水市婦人会理事）

藤平蔵 専門委員（公益財団法人 とやま環境財団業務執行理事）

4 配布資料

第2次環境基本計画について

射水市環境基本計画（概要版）

5 議題

（1）射水市環境審議会専門部会委員長の選出について

松原委員が専門部会委員長に就任した。

（2）第2次射水市環境基本計画の環境像について

（3）第2次射水市環境基本計画の施策体系について

（4）その他

環境基本計画等について質疑応答及び意見交換を行った。

（5）閉会

6 質疑応答及び意見の概要

（委員） 現計画の目標にある、一般家庭における太陽光発電システム設置補助制度は現在もあるのか。

（事務局） 現在、その補助制度はなく、個人を対象とした電気自動車の新規購入の補助制度がある。

（委員） 現計画の太陽光発電システムの設置数目標1,200件はかなり高い目標だったと思う。次期計画では地球温暖化対策のひとつとして、太陽光発電システムの設置補助から電気自動車の購入補助へ変更して取り組んでいくのか。

（事務局） 太陽光発電システム設置数は平成27年度の時点で880戸であり、目標

未達成となる。次期計画では委員ご発言のとおり、電気自動車購入補助を考えている。

(委員) 現計画目標でごみの不法投棄件数0件とあるが、現在の状況は。

(事務局) 平成22年から27年度の年平均で30件であり、年々件数は増えている。

(委員) 不法投棄監視員はいるのか。

(事務局) 市で4月から11月まで2名の臨時職員を雇用しており、回収業務に従事している。

また、各町内会でも不法投棄監視員を推薦してもらい、不法投棄があった場合は監視員から市へ連絡してもらっている。

(委員) 現計画にある数値目標で「市民参加による森づくりの年間延べ参加人数を平成29年度末まで200人以上」とあるが、市から活動について周知しているのか。また、目標値が若干低いように思われるが、目標設定の経緯はどうだったのか。

(事務局) 金山、串田地区において、住民による森林整備活動が行われており、活動内容や器具の貸出しなどを市から周知してきた。なお、平成27年度の延べ参加人数の実績は869人である。目標設定については当時市民参加の森づくり活動が活発ではなかったため現計画の数値目標とした。

(委員) 稲のもみがらを利用した堆肥化など循環型農業による環境に優しい農業の推進を行って欲しい。また、次期計画では小水力発電を推進していただきたい。

(委員) 食品ロスの削減に向けて、市の会合等で「30・10運動」を周知して欲しい。また、小学校ではリサイクル活動などを行っており、小学生への環境教育はたいへん重要であると思うので、次期計画でも推進してほしい。

(事務局) 市内小学校で2年前から牛乳パックリサイクルの実証実験を行っている。

(委員) 不燃物の収集日に無許可者が収集していることがある。対応についてどのような周知をしているのか。

(事務局) 市へ連絡するように周知している。また無料回収業者にも出さないよう周知している。集積場からの運びだしの頻度が多い場合などは、監視カメラの設置を行っている。

(委員) 市で把握しているごみ屋敷の件数は。

(事務局) 3件ある。随時見回りを行い、片付けるよう指導している。このうち2件は改善しつつある。